

「みやま市都市計画道路および用途地域の見直し（案）」にいただいた意見と市の考え方

| ご意見 | 市の考え方 |
|--|---|
| <p>国道 208 号線下楠田信号から東側は、すでに着手されていますのでその区間は、存続で整備をしてほしい。</p> <p>下楠田信号から東側は、道路が作られ、特に JR 線路より東 300m はすでに工事が概成済となっています。多くの税金を使って東側の半分以上が終わっています。廃止ではもったいないと思います。有効活用するためにも下楠田信号からつながるように整備をするべきだと思います。</p> <p>そうすることで 208 号線がらみの混雑が避けられ、車の離合がしやすく安全な道路になります。地域の方々も安全な道路になるとこれまでよりずっと利用しやすくなります。</p> <p>これまでの工事が無駄にならないためにも、208 号線渋滞緩和のためにも、最後まで計画を存続すべきだと思います。</p> | <p>都市計画道路の廃止は、都市計画道路としての整備（計画幅員 16m での整備）を行わないことを決定しようとするもので、安全確保のために必要な道路改良まで行わないことを決定するものではありません。</p> <p>なお、今回の都市計画道路の見直しにあたって、将来交通量推計により、本路線を整備しなかった場合の、周辺道路の混雑状況に与える影響を確認したところ、周辺道路の混雑状況への影響は少ないとの結果が得られています。</p> |
| <p>江浦・下楠田線の計画は反対</p> <p>1. 都市計画道路 江浦・下楠田線の農地について 農地区画整理された土地に対し、斜めに道路を作る計画となっている。この計画が実施されれば、折角長方形に区画された農地が台形や三角形になり、作業能率が落ち、収穫量も減る。</p> <p>2. 都市計画道路 江浦・下楠田線の必要性について 道路を新たに作る費用、土地買収等に億単位の費用が発生すると考えるが、人口が減少し、車の使用も減ると考えられるのに新たに道路を作る必要性が理解し難い。</p> <p>3. 費用について 道路を作れば、いずれは補修が必要となる。2. の費用も含め今の子供たちの負担にならないか。</p> | <p>今回の都市計画道路の見直しは、都市計画道路江浦・下楠田線の整備を行わないことを決定しようとするものです。</p> |

| ご意見 | 市の考え方 |
|--|--|
| <p>高田地区、江浦・下楠田線 評価結果の廃止候補を、存続と変更すること。</p> <p>見直し（案）の廃止候補とした根拠を5点あげておられるが、納得できる内容とはなっていない。同（案）は、業務委託によるものであろうが、地域の実情を把握したうえでの評価結果とは思えない。</p> <p>当該地区の二川校区は、みやま市で唯一人口が増え、そして児童数も増えて、見直し（案）が言う「少子高齢化による人口減少」に歯止めをかけており、今後ともその役割を担って健闘していくべき地域である。</p> <p>加えて、2023年4月には、二川、江浦、開、岩田の4小学校が統合して、現在の二川小学校地に集まることとなる。</p> <p>現在でも通学路の危険とされる数か所が改善できないまま推移している。こののち車と人の流れの変化と増加によって、さらなる道路環境の悪化が予測されているのである。</p> <p>4校もの小学校の統合によりスクールバス5台が動くことになるが、スムーズなバス路線決定が難しい状況である。それは、国道208号線を取りまく道路、信号等の不都合さが点在しているからである。</p> <p>計画道路は、街の複合的な生活空間を形成する大切なものであり、手引きによるいくつかの数值化したデータのみで決定されてはいけない。人口減少、未着手を招いているのは、どこに責任があるのか。</p> <p>百歩譲って、廃止とするなら、抜本的な代替案の提示がなければ地域の理解は得られないと考える。</p> | <p>本路線は、「福岡県都市計画道路検証方針」に基づき、必要性評価、道路網評価の結果を踏まえ、総合的な観点から検証を行なった結果、廃止候補となったものです。二川校区は人口が増えているとのご意見ですが、長期的には高田地区の人口減少が予想されるなか、交通量の大幅な増加を見込むことは厳しいのではないかと考えます。今回の廃止は、あくまでも都市計画道路としての整備（計画幅員16mでの整備）を行わないことを決定しようとするものです。地域に必要な道路の整備、通学路の危険解消については、引き続き検討を行ってまいります。</p> |